
まさきだより

令和7年10月30日

イングリッシュウィーク

本校では11月4日～7日の一週間を、イングリッシュウィークとして、普段は羽島市内の小中学校で勤務する5人のALT（アシスタント・ランゲージ・ティーチャーの略、以下ALTとする）を本校に集めて、英語に親しむ機会を作ります。

このイングリッシュウィークは羽島市教育委員会の主催事業で、昨年度は竹鼻中学校で開催されました。竹鼻中学校のイングリッシュウィークを参観した時には、英語の授業は、小学校の英語の授業と大きく違い、文法は専門的で、コミュニケーション重視の授業に映りました。だからこそ、小学校3年生からの外国語活動の授業、5年生からの外国語科の授業では、子どもたちにとって英語を学ぶことは楽しいと感じてもらいたいと考えています。英語を学ぶことは楽しいと感じる気持ちが、継続的に英語を学ぶ、心のエンジンになってほしいと思います。

今年度のイングリッシュウィークは、本校で開催されます。日頃は本校では、月曜日から水曜日に、スリランカ出身のALTであるラール先生が勤務しています。5人のALTが本校にきて、どんな化学反応が起きるのか、今からとても楽しみにしています。



このイングリッシュウィークのメインイベントとして、11月6日と7日、正木万博を計画しています。この正木万博は、今年度大阪府で開催された「大阪・関西万博」の正木小学校版です。世界の国の中から、16カ国を選んで、パビリオンのような形式で、その国の紹介を英語で行うものです。今回は、スタンプ帳を用意して、16カ国のパビリオン

を回ったらスタンプを押してもらえるように仕組んでいます。子どもたちと一緒に、あの「ミャクミャク」や国旗を準備しています。この機会に、英語に親しんでもらい、英語に関心をもってもらえることを期待しています。写真は、子どもたちと一緒にミャクミャクを制作しているところです。今後ともよろしくお願いいたします。 校長 花村伸二